

小中連携だより

平成30年12月3日 第2号

立川第二中・第二小・第五小・南砂小

子どもの「未来」を作る

南砂小学校 校長 佐藤之保

新学習指導要領の話題はよく出ますが、今回は、「幼稚園教育要領」と「保育所指針」も改訂されました。これは、子どもたちを、保育園・幼稚園から中学校までの生活の中で、スムーズに一貫性をもって育てていこうという大きな流れだと思います。保育所指針も今まで以上に教育の視点を重視するようになりました。

小中の連携とは、そんな大きな流れの中での一部です。立川市は、平成31年度から全ての小・中学校がコミュニティスクールになり、今まで以上に、学校のコミュニティの核としての役割が重視され、学校が地域の多くの方々と共に教育を作り上げていく時代が来ています。

子どもたちには、大きく変動していく未来を心配するのではなく、チャンスと捉え、積極的に自分の人生を積み上げていくことができる社会人になってほしいと思います。

質の高い小中連携は、子どもの現在を作るだけにとどまらず、その「未来」を作ることでもあります。子どもたちの明るい「未来」を願ってやみません。

【2学期の活動から】

＜小中連携外国語活動＞11月14日（水）・15日（木）

東京都教育委員会から配布された「Welcome To Tokyo (Elementary)」を活用するなどの学習内容で、中学英語校教員と連携することでより外国語に親しむことができました。中学校での英語学習に円滑につながる活動になっています。

＜特別支援学級の交流＞11月7日（水）

中学生による合唱・合奏の発表や交流することで、小学生は卒業生への憧れを抱き、中学生は関わることで自分の成長を感じる一面もありました。互いにより交流となりました。

小中連携外国語活動



特別支援学級の交流



＜小中連携教育協議会＞

10月26日（金）会場：第二小

立川第二中学校区小中連携教育協議会を開催



【学習習慣 A】

各学校の学力向上への取組の情報共有。自学の取組や読書旬間の取組の継続。

【生活習慣 A】

各学校の生活のきまりの取組やSNSルールの指導の情報共有。

【学習習慣 B】

体力テストを踏まえた取組の情報交換。子どもたちの実態に合わせた取組の継続。

【生活習慣 B】

各学校であいさつ運動の開催。清掃運動は、期間内に各学校で取組の継続と意識の統一。

【立川市民科】

各校の人材リストから人材活用と新規開拓の継続。

【特別支援】

交流による進学への期待を高める成果と活動の継続。

【小中連携外国語活動】

小中連携外国語活動の授業内容の検討や取組の継続、次年度の実施回数の検討。

＜地域清掃活動＞10月15日（月）～19日（金）

日頃お世話になっている地域に少しでも貢献し、奉仕する精神を培うため、各学校の周辺地域の清掃活動に取り組みました。

